

環境通信 第22号 (9月号)



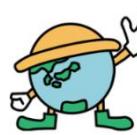
令和5年9月発行（年4回発行）・発行元：大分市環境対策課・地球温暖化対策おおいた市民会議



みらいさん

…環境問題に関心がある社会人

登場人物



アスまるくん

…大分市地球温暖化防止キャラクター

「地球（アース）の明日（あす）をまもる」ため、大分市にやってきた。環境問題や地球温暖化対策にくわしい

地球環境に関するイベント



様々な体験を通じて、「私たちのくらしのなかの大切なもの」について考えてみませんか？
ぜひ、ご家族やお友達連れで会場にお越しください！

アスまるくん

地球温暖化対策講座

開催日時 10月28日（土）午前10時～午前11時30分
開催場所 J:COMホルトホール大分 201会議室



開催内容 講演
「今地球が危ない！地球温暖化を止めることはできるか」
「食品ロスの削減方法について」
ワークショップ
「サステナブルなハロウィーングッズを作ってみよう！」

おおいたうつくし感謝祭

開催日時 10月28日（土）午前10時30分～午後3時
開催場所 大分いこいの道広場、大分駅上野の森口（南口）前広場
テーマ 今日からできる“おおいたプラごみゼロ宣言”

開催内容 人気似顔絵アーティストによる来場者の似顔絵を「プラごみゼロ宣言」に添えてプレゼント。フリーマーケットや環境に関するワークショップ、環境ヒーローショー、抽選会など楽しく学び考える企画が盛りだくさんです。



地球温暖化対策講座に参加しませんか！

開催日時 10月28日（土）午前10時～午前11時30分
午前9時30分～受付
開催場所 J:COMホルトホール大分 201会議室
託児室あり（※事前申込した方のみ利用可能）

開催内容 (1) 講演（各25分）

1) 「地球温暖化を止めることはできるのか」

講師 細井 利男（NPO法人 大分環境カウンセラー協会）



元高校生物科教員でもある講師が、地球温暖化による生態系への影響や地球温暖化の解決策についてお話しします。私たちの生活を支える大切な生態系を守るため、地球温暖化対策に取り組むきっかけになればと思います。

2) 「食品ロスの削減方法について」

講師 溝部 敏勝（地球温暖化防止コミュニケーター）

食品ロス削減推進サポーターでもある講師が食品ロスの削減方法についてお話しします。今日から取り組める食品ロス削減のコツも学ぶことができます。

(2) ワークショップ（30分）

「サステナブルなハロウィーングッズ作ってみよう！」

古着などの布を使ってフラッグガーランドを作成するワークショップを行います。着られなくなったけど捨てられない思い出の詰まった古着や布などをリメイクし、サステナブルなハロウィーンの飾りを作ってみませんか。



参加費 無料

作品例
フラッグガーランド

持参品 ・着られなくなったシャツなどの古着や布
・包装紙などの古紙

定員 50名（応募多数の場合は抽選）

申込方法 大分市環境対策課へ事前にお申込みください。
電話 097-537-5758

申込締切 10月18日（水）

裏面につづく



ファッションと気候変動～ライフスタイルの再考～

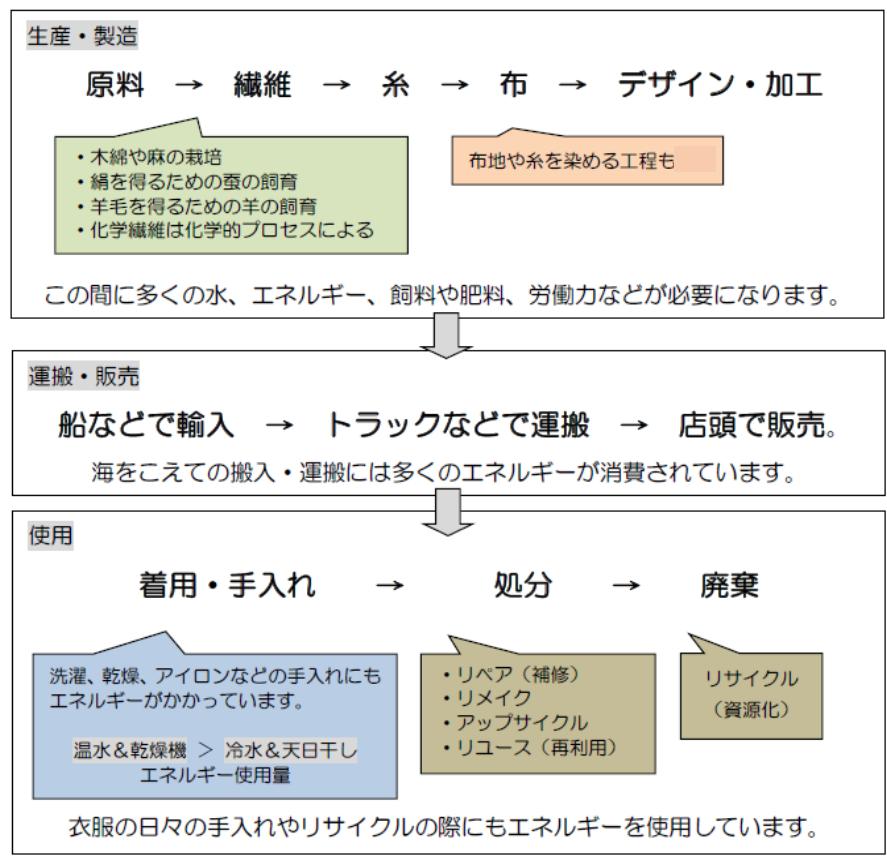
みらいさん
地球温暖化対策講座では、古着を使ってフラッグパーランドを作るんですね。古着を使ったアップサイクルをすることが、なぜ、地球温暖化対策に繋がるのですか？

西本委員
それでは、日本のファッションを取り巻く現状と、衣料品（服）の原材料調達から廃棄までの一連の過程の中で、どのように二酸化炭素の排出が行われているか見てみましょう。

西本委員
服は、環境に応じて私たちの体を守ってくれる大切なものです。さらには自身の個性を表現する手段として、流行としてのファッションがあり、若い世代を中心に関心の高いテーマでもあります。では、今、私たちが着ている服は「誰が」「どこで」「どうやって」作っているのでしょうか。どのようにしてあなたの手元に届いたのでしょうか。

海外で生まれ日本で消費される服の一生

日本で売られている衣料品の約98%は海外からの輸入品です。海外で作られた衣料品は、日本に輸送され、販売・利用されて、回収・廃棄されます。こうした原材料の調達、生地・衣服の製造、そして輸送から廃棄に至るまで、それぞれの段階で環境に負荷が生じています。「日本人は1人当たりの服に関する二酸化炭素排出量が世界で最も高い」と言われています。海外における生産は、数多くの工場や企業によって分業されているため、環境負荷の実態や全容の把握が困難な状態となっています。



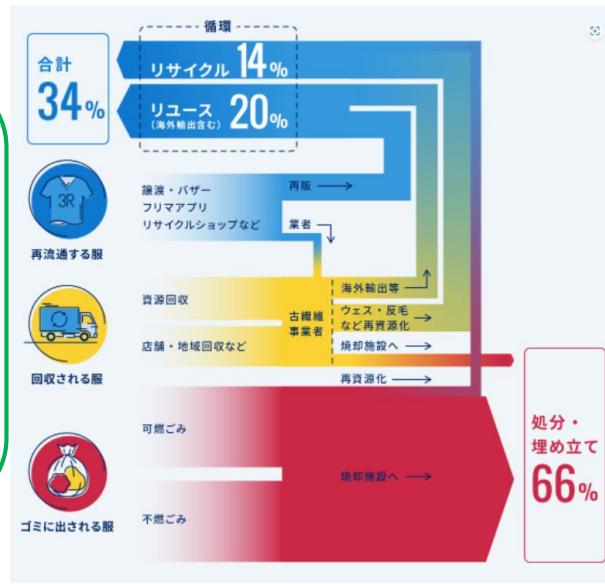
ファッションロス

西本委員
日本で起きているファッションロス（まだ着ることのできる衣服などが廃棄されること）を数値化して見てみましょう。

1人あたり（年間平均）に衣服消費・利用量

- 購入枚数 約18枚
- 手放す服 約12枚
- 着用されない服 25枚

西本委員
手放した服の66%が可燃ごみ・不燃ごみとして処分されています。手放した服がリユース・リサイクルを通じて再活用される割合の合計は約34%となっており、年々その割合は高まっていますが、まだまだ改善の余地はありそうですね。



焼却後に処分・埋め立てられる量は、年間で約44.5万トン。大型トラック約120台分を毎日焼却・埋め立てしていることとなります。

ファッションと環境へのアクション ～サステナブルファッション～

サステナブルファッションを実現していくためには、環境配慮製品の生産者を積極的に支援するとともに、私たち生活者も一緒になって「適量生産・適量購入・循環利用」へ転換させていくことが大切です。まずは、できることからアクションを起こしていきませんか。

- 1 服を大切に扱い、リペアをして長く着る
- 2 おさがりや古着販売・購入などのリユースでファッションを楽しむ
- 3 可能な限り長く着用できるものを選ぶ
- 4 環境に配慮された素材で作られた服を選ぶ
- 5 店頭回収や資源回収に出して資源として再利用する

西本委員
おさがりの文化
「おさがり」にどのような印象を持っていますか？新品でない古着を譲ることに抵抗感を持つ方も少なくないでしょう。一方で、愛着のある洋服などを兄弟姉妹や、お付き合いのある人に譲ることで、大切な服が長くその人の個性を彩ってくれるという喜びもあります。おさがりの文化は、まさにサステナブルファッションに繋がる取り組みのひとつです。